

第12期(2011~2012年度)活動方針

目指すべき姿

すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現

■第12期活動の基本目標 ↓ ↑
『頼りにされる存在として地域社会に
笑顔があふれる活動を進めよう!』

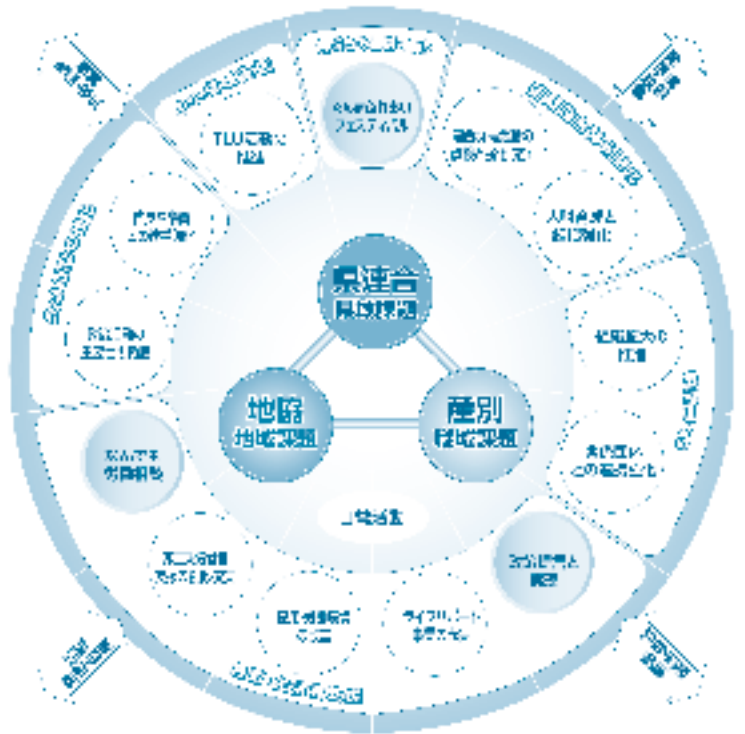
■第12期キャッチフレーズ ↓ ↑
『キャッチ・アップ 連合群馬!』
*組合員・県民のニーズを的確に
把握(キャッチ)し、活動強化(アップ)

第12期重点活動6項目

- ①勤労・生活者支援
- ②中小労組支援
- ③組織運営体制強化
- ④仲間づくり
- ⑤政治活動の強化
- ⑥地域との連携・強化



産別・地協・県連合それぞれの役割と責任を果たすとともに、サポートを強化し、連合群馬のスケールメリットを最大限発揮し活動を推進します!



質疑応答



JAM/井部代議員

要望: 中小労組支援「TLU」の取り組みの調査については、春闘時に活用できる地域別同規模・同業種の賃金水準データを集約するような調査活動を展開していただきたい。

回答: 地域ミニマム運動を展開する300名以下の企業組合の賃金実態調査を行い、本部で集計・分析したものをフィードバックしていこうと考えている。その賃金水準は賃金交渉するうえでの、参考データになるので最大限の支援をしていきたいと考えている。

また、調査に対する協力をお願いしたい。



UIセンセン/船津代議員

質疑: 組織運営体制強化「人財育成と組織強化」で次代のリーダー育成に向けて「フェイス トゥ フェイス」という表現を使っていたが、具体的な考えをお聞かせ願いたい。

回答: 活動に参画する構成組織が偏っており、参画が少ない組織には出向いて顔を合わせ、しっかりと理解してもらいたい。リーダー育成にも「フェイス トゥ フェイス」は必要であり、案として1つの例をあげるならリーダー塾といったものがある。具体的には第12期の中で議論し提案する予定である。

大会記念レセプション



会場に華を添える、東電労組を中心としたスイングエースビックバンドの皆様

我々に毎年、厳しくそしてためになる提言をいただいています。連合の皆さんと力を合わせて働く人のため、また県民全体のため、元気な群馬県を作っていきたい。



群馬県 茂原副知事

～ご来賓挨拶～



群馬県経営者協会 児玉会長

労使がお互いに立場を尊重し合い、群馬をより良くしていきたい。そして「官」にも全面的に協力をいただき、「労使官」でこれから共に頑張りましょう。